

発展 手作りの横笛

水道管で横笛を作ってみよう！

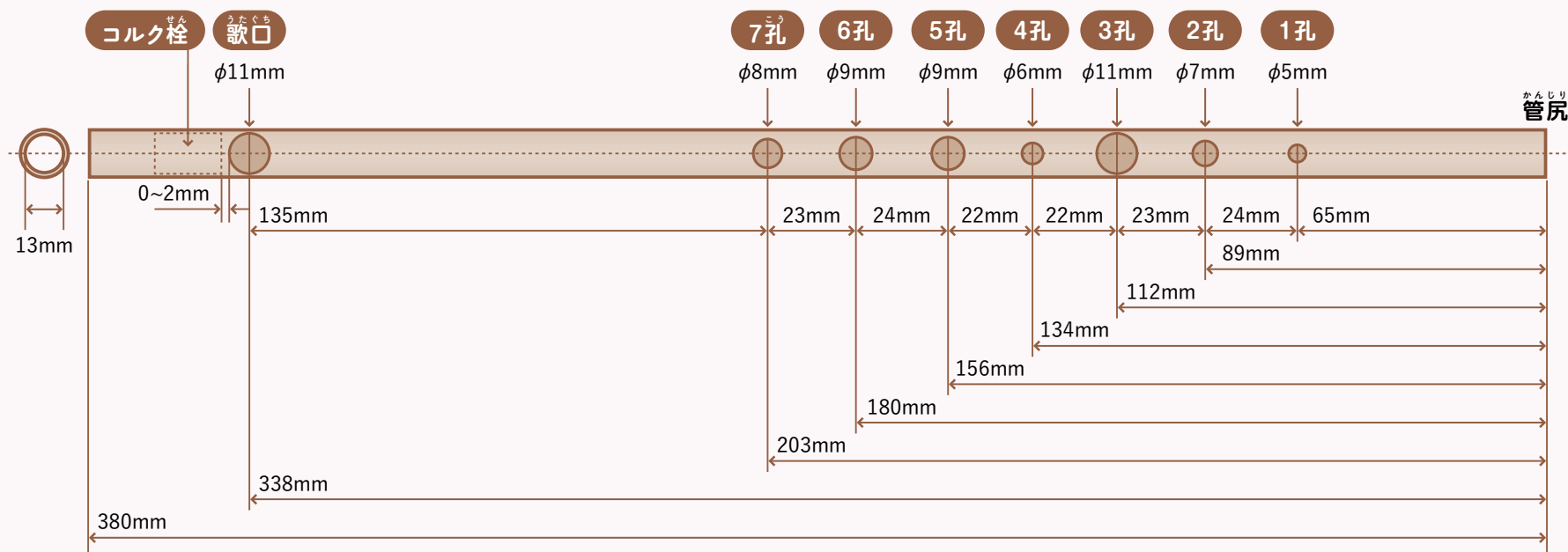
水道管（塩化ビニル製）を加工して実際に音の出る横笛を作ることができます。

篠竹を切り取って作る笛が篠笛しのぶえですから、水道管で作った笛は水道笛（!?）になるでしょう。

横笛ができあがったら、
さっそく音出しをしてみましょう。



上 篠笛, 下 水道管の横笛



この設計図を用いて作った横笛は、篠笛でいうと八本調子にあたり、りょ呂（低い音域、▶ p.20）がピアノの音に合わせやすいようになっています。

横笛製作にTRY!

準備するもの

- 水道管 (塩化ビニール製内径13mm)
- のこぎり (プラスチックが切れるもの)
- 紙やすり
- 彫刻刀
- きり
- 万力
- 防塵眼鏡
- ノギス
- ポール盤

注意

- 製作中は作業に集中し、話などしないようにしましょう。
- 刃物の取り扱いには慎重に行いましょう。
- やすりなどで穴を加工するときに、バリで指を傷つけないように注意しましょう。

作り方

1



内径13mmの水道管を端から380mmの所に印を付け切断する。

2



切り口のバリ (ギザギザした部分) をやすりで整える。最初に金やすりをかけ、次に紙やすりをかける。紙やすりは、最初は100～150番の目の粗いもの、次に240～360番の中くらいのもの、最後に600番の細かいものというように、使い分けるときれいに仕上がる。内側に出たバリは彫刻刀で取る。

3



設計図にしたがって穴の中心を油性ペンでマークし、管体を万力で固定してきりで軽く印を付けておく。

4



ボール盤を使って、印に穴をあける。設計図の数値より1mmほど小さくあけること。目を保護するために防塵眼鏡を使用するとよい。

横笛製作はTRY!

5



ノギスで計りながら、穴を彫刻刀と丸めた紙やすりで整える。



ていねい
丁寧に仕上げよう!

6



棒に紙やすりを巻き付けて内側のバリを取る。
紙やすりは直径10mmくらいの丸棒に両面テープで貼るとよい。

7



歌口の側にコルクをつめる。
棒でコルクの位置を調整して完成。



板で転がすようにして潰すと
コルクが柔らかくなり
つめやすくなります。

